

パネルディスカッション1

「ポストピロリ時代における除菌治療の現状と残された課題」

司会 渡邊 俊雄（大阪公立大学大学院医学研究科先端予防医療学）

杉本 光繁（大分大学グローカル感染症研究センター）

2024年に”*H. pylori* 感染の診断と治療のガイドライン”が改訂され、EBMに基づいた除菌治療の治療指針が示された。本邦では感染率の推移よりポストピロリ時代に突入していると考えられるが、臨床現場では未だに除菌治療に難渋する事例も存在する。本パネルディスカッションでは除菌治療の現状と残された課題を明確化するとともに、その対応策を議論するべく企画された。多方面から新たな切り口での多くの演題を募集したい。